

統一地方選と衆参5補選で 進化したdサーベイ

2023.9.8 第13回世論・選挙調査研究大会

d - SURVEY

株式会社 社会調査研究センター (SSRC)

概要

統一地方選と衆参5補選で約50本のdサーベイ 精度を実証

⇒人口規模の〈大〉〈小〉で**2種類の調査モデル**

データとノウハウの蓄積が進む

I. 知事選・政令市長選・参院補選 = 人口〈大〉

➤ 都道府県・政令市単位で1人の当選者を決める選挙 ⇒**十分な母数を生かす「配信設計モデル」**

II. 衆院補選・一般市長選 = 人口〈小〉

➤ 衆院小選挙区の有権者数は約23万~45万人

➤ 一般市長選は有権者数10万人以上が目安

⇒**十分なサンプル数を生かす「補正モデル」**

ポストRDDの新機軸

- ◆ NTTドコモのdポイントクラブ会員（約9500万人）を対象としたアンケートサービス「プレミアムパネル」を活用し、社会調査研究センター（SSRC）が実施するインターネット調査
 - ※ dポイントクラブ会員にはNTTドコモ以外の携帯ユーザーも含まれる
- ◆ dサーベイの対象は18歳以上の約6500万人
 - ☞ 日本の有権者の6割以上を母集団として完全なランダムサンプリング調査が可能
- ◆ 電話RDDの課題① = 複数の携帯電話を保有する人の多い都市部にサンプルが偏る
 - ☞ dサーベイはdポイントアカウントを持つ個人が対象⇒完全なランダムサンプリング
- ◆ 電話RDDの課題② = 電話応答率の低下でサンプル数の確保が困難に
 - ☞ dサーベイは衆院補選や一般市長選※でも3,000サンプル以上を確保 ⇒十分なサンプル数
(※人口20万人以上)
- ◆ 電話RDDの課題③ = 固定電話ではサンプルが高齢層に偏るため立憲民主が強めに
 - ☞ dサーベイは幅広い年代から十分なサンプル数 ⇒「配信設計モデル」「補正モデル」

ネット調査の課題に対応

◆ インターネット調査の課題①

- 限られたパネル登録者が対象となるため、母集団が偏る。
- 地方選挙調査のように限定された地域を対象とする場合、調査対象者をランダムサンプリングできたとしても、シングルフレームで十分なサンプル数を確保するのは難しく、複数のパネル（異なる母集団）を組み合わせるなどの複雑なオペレーションが求められる。

☞ dサーベイの母集団は有権者の6割以上⇒**シングルフレームで電話調査以上のサンプル数**

◆ インターネット調査の課題②

- 回答サンプルが男性、特に40代・50代に偏るため、選挙調査では日本維新の会に強く出る傾向。

☞ dサーベイの母集団は有権者の6割以上⇒**性・年代分布を推定投票者もしくは人口構成に近似させる「配信設計モデル」**

☞衆院補選・市長選でも十分なサンプル数⇒**性・年代分布を推定投票者もしくは人口構成に近似させる「補正モデル」**



I. 知事選 ①

奈良県知事選 3月23日告示、4月9日投票												
			開票結果		投票行動調査		中盤情勢調査		序盤情勢調査		告示前情勢調査	
			投票率54.82%		4月9日12:00-17:00		4月2日8:30-16:00		3月26日9:00-17:00		3月19日9:00-18:00	
山下真	維新	新	266,404	44%	1,104	45%	985	48%	992	50%	861	49%
平木省	無所属	新	196,729	33%	940	38%	731	35%	617	31%	455	26%
荒井正吾	無所属	現	97,033	16%	305	12%	292	14%	317	16%	348	20%
尾口五三	無所属	新	19,861	3%	64	3%	39	2%	33	2%	56	3%
西口伸子	無所属	新	13,034	2%	26	1%	11	1%	22	1%	26	1%
波多野貴至	無所属	新	6,806	1%	13	1%	3	0%	5	0%		
			599,867		2,452		2,061		1,986		1,746	
平木氏は自民県連推薦、立憲県連支持												
荒井氏は国民県連推薦					有効回答数3,200件		有効回答数3,651件		有効回答数3,651件		有効回答数3,650件	
尾口氏は共産推薦											※告示前は6人目の選択肢なし	

- 配信設計モデル
- 告示前から維新候補の優勢を捕捉
- 統一地方選・衆参5補選における維新躍進の流れが鮮明に
- 自民・立憲相乗り候補の追い上げに勢いなく

徳島県知事選 3月23日告示、4月9日投票												
			開票結果		投票行動調査		中盤情勢調査		序盤情勢調査		告示前情勢調査	
			投票率54.60%		4月9日12:00-17:00		4月2日8:30-15:00		3月26日9:30-18:00		3月19日9:30-19:00	
後藤田正純	無所属	新	130,993	40%	1,137	46%	1,013	45%	839	41%	864	41%
三木亨	無所属	新	100,309	31%	695	28%	570	25%	563	27%	562	27%
飯泉嘉門	無所属	現	85,956	26%	584	24%	623	28%	601	29%	646	31%
古田元則	共産	新	10,546	3%	57	2%	54	2%	58	3%	43	2%
			327,804		2,473		2,260		2,061		2,115	
飯泉氏は自民県連推薦					有効回答数3,209件		有効回答数3,646件		有効回答数3,651件		有効回答数3,653件	

- 配信設計モデル
- 保守3分裂で接戦予想もあった中、告示前から後藤田氏の優勢を捕捉
- 選挙戦は2位争いが焦点となり、現職が失速して3位に



I. 知事選 ②

北海道知事選 3月23日告示、4月9日投票													
開票結果				投票行動調査		中盤情勢調査		序盤情勢調査		告示前情勢調査			
投票率51.70%				4月9日12:00-17:00		4月2日10:00-18:00		3月26日9:00-21:00		3月19日9:00-23:00			
鈴木直道	無所属	現	1,692,436	76%	3,068	74%	1,994	76%	1,979	77%	1,984	80%	
池田真紀	無所属	新	479,678	21%	990	24%	556	21%	576	22%	474	19%	
門別芳夫	無所属	新	40,579	2%	70	2%	40	2%	11	0%	17	1%	
三原大輔	無所属	新	24,978	1%	29	1%	17	1%	9	0%			
			2,237,671		4,157		2,607		2,575		2,475		
鈴木氏は自民・公明・大地推薦													
池田氏は立憲推薦、共産・国民道連・社民・ネット支持				有効回答数5,118件		有効回答数3,650件		有効回答数3,646件		有効回答数3,645件		有効回答数3,645件	
											※告示前は4人目の選択肢なし		

- 配信設計モデル
- 現職圧勝
- 野党系候補に勢いなく

大阪府知事選 3月23日告示、4月9日投票													
開票結果						中盤情勢調査		序盤情勢調査		告示前情勢調査			
投票率46.98%						4月2日10:00-21:00		3月26日9:00-翌朝		3月19日9:00-翌朝			
吉村洋文	維新	現	2,439,444	74%			1,993	79%	1,943	82%	2,117	84%	
谷口真由美	無所属	新	437,972	13%			299	12%	239	10%	209	8%	
辰巳孝太郎	無所属	新	263,355	8%			141	6%	126	5%	135	5%	
吉野敏明	参政	新	114,764	3%			55	2%	49	2%	40	2%	
佐藤さやか	政女	新	32,459	1%			18	1%	7	0%	22	1%	
稲垣秀哉	諸派	新	22,367	1%			9	0%	5	0%	5	0%	
			3,310,361				2,515		2,369		2,528		
辰巳氏は共産推薦													
						有効回答数3,650件		有効回答数3,645件		有効回答数3,599件			

- 配信設計モデル
- 現職圧勝
- 反維新候補の僅かな追い上げも捕捉
- 投票行動調査は実施せず



I. 政令市長選

札幌市長選 3月26日告示、4月9日投票										
開票結果				知事選投票行動調査		知事選中盤情勢調査		知事選序盤情勢調査		
投票率50.99%				4月9日12:00-17:00		4月2日10:00-18:00		3月26日9:00-21:00		
秋元克広	無所属	現	458,221	56%	1,262	62%	512	66%	720	76%
高野馨	無所属	新	234,834	29%	502	25%	186	24%	137	15%
木幡秀男	無所属	新	124,692	15%	280	14%	78	10%	85	9%
			817,747		2,044		776		942	
秋元氏は立憲・大地推薦					札幌市長選の投票先 回答サンプルのみを集計		札幌市長選の投票先 回答サンプルのみを集計		札幌市長選の投票先 回答サンプルのみを集計	
木幡氏は共産推薦										

- 配信設計モデル
- 現職圧勝
- 共産候補の僅かな追い上げも捕捉
- 札幌市の有権者数が北海道全体の4割を占めることから知事選調査の中で札幌市長選の投票先も質問

大阪市長選 3月26日告示、4月9日投票										
開票結果				告示後情勢調査		告示日情勢調査		告示前情勢調査		
投票率48.33%				4月2日9:00-19:00		3月26日9:30-翌朝		3月19日9:30-翌朝		
横山英幸	維新	新	655,802	65%	1,408	74%	1,177	75%	1,136	76%
北野妙子	無所属	新	268,227	26%	458	24%	347	22%	327	22%
山崎敏彦	無所属	新	45,369	4%	11	1%	7	0%	13	1%
荒巻靖彦	無所属	新	30,960	3%	25	1%	15	1%	11	1%
ネベンサ	無所属	新	15,408	2%	8	0%	14	1%	8	1%
			1,015,766		1,910		1,560		1,495	
				有効回答数3,648件		有効回答数3,644件		有効回答数3,645件		

- 配信設計モデル
- 現職圧勝
- 反維新候補の僅かな追い上げも捕捉
- 投票行動調査は実施せず

※「ネベンサ」は告示日と告示前調査では「安達真」

I. 知事選・参院補選

大分県知事選 3月23日告示、4月9日投票										
			開票結果		中盤情勢調査		序盤情勢調査		告示前情勢調査	
			投票率51.45%		4月2日8:30-17:00		3月26日9:30-19:00		3月19日9:30-21:00	
佐藤樹一郎	無所属	新	271,400	57%	1,312	60%	1,283	64%	1,217	67%
安達澄	無所属	新	202,623	43%	865	40%	718	36%	601	33%
			474,023		2,177		2,001		1,818	
佐藤氏は自民・公明県本部推薦										
					有効回答数3,647件		有効回答数3,655件		有効回答数3,652件	

- 配信設計モデル
- 野党候補が告示前のダブルスコアから追いつけるも、与党候補が余裕を持って逃げ切る
- 投票行動調査は実施せず

参院大分補選 4月6日告示、23日投票										
			開票結果		終盤情勢調査		中盤情勢調査		告示前情勢調査	
			投票率42.48%		4月21日9:00-		4月16日9:00-19:00		4月9日9:00-翌朝	
白坂亜紀	自民	新	196,122	50%	1,178	49%	1,057	45%	977	42%
吉田忠智	立憲	前	195,781	50%	1,236	51%	1,307	55%	1,156	58%
			391,903		2,414		2,364		2,133	
吉田氏は共産・社民支持										
白坂氏は公明推薦					有効回答数3662件		有効回答数4,004件		有効回答数4,251件	

- 配信設計モデル
- 立憲候補が優勢とみられていたが、自民候補が終盤に追いつき僅差で差し切る
- 投票行動調査は実施せず、投票2日前の終盤調査で自民候補の追い上げを捕捉



Ⅱ. 衆院補選 ①

衆院山口2区補選 4月11日告示、23日投票												
開票結果				投票行動調査 (補正)		告示後情勢調査 (補正)		告示直前情勢調査 (補正)		告示前情勢調査 (補正)		
投票率42.41%				4月23日12:00-18:00		4月16日8:30-翌朝		4月9日8:30-翌朝		4月2日9:30-翌朝		
岸信千代	自民	新	61,369	52%	950	52%	1,109	55%	1,001	60%	1,003	59%
平岡秀夫	無所属	元	55,601	48%	894	48%	894	45%	681	40%	693	41%
			116,970		1,844		2,003		1,682		1,696	
岸氏は公明推薦												
				有効回答数2,466件		有効回答数3,213件		有効回答数2,899件		有効回答数3,107件		

- 補正モデル
- 有権者数28万人
- 世襲の岸氏を野党系の平岡氏が追い上げたが及ばず
- 電話調査では平岡氏優勢の報道も

衆院千葉5区補選 4月11日告示、23日投票												
開票結果				投票行動調査 (補正)		告示後情勢調査 (補正)		告示直前情勢調査 (補正)		告示前情勢調査 (補正)		
投票率38.25%				4月23日12:00-16:00		4月16日9:00-15:00		4月9日8:30-15:00		4月2日9:00-16:00		
英利アルフィヤ	自民	新	50,578	31%	663	33%	642	34%	483	32%	421	30%
矢崎堅太郎	立憲	新	45,635	28%	667	33%	570	30%	454	30%	439	32%
岡野純子	国民	新	24,842	15%	322	16%	271	14%	197	13%	198	14%
岸野智康	維新	新	22,952	14%	207	10%	243	13%	225	15%	171	12%
齊藤和子	共産	新	12,360	7%	122	6%	116	6%	124	8%	107	8%
星健太郎	無所属	新	6,561	4%	49	2%	34	2%			18	1%
織田三江	政女	新	2,463	1%	8	0%	33	2%	23	2%	27	2%
			165,391		2,038		1,909		1,505		1,381	
英利氏は公明推薦												
				有効回答数3,205件		有効回答数4,254件		有効回答数4,259件		有効回答数4,260件		

告示前の7人目は中西宏晃、告示直前はなし

- 補正モデル
- 有権者数45万人
- 自民候補と立憲候補の大接戦を告示前から時系列で捕捉
- 電話調査では立憲優勢の報道も
- 国民民主の候補が出ていなかったら...



Ⅱ. 衆院補選 ②

衆院和歌山1区補選 4月11日告示、23日投票												
			開票結果		投票行動調査 (補正)		告示後情勢調査 (補正)		告示直前情勢調査 (補正)		告示前情勢調査 (補正)	
			投票率44.11%		4月23日12:00-20:00		4月16日8:30-翌朝		4月9日8:30-翌朝		4月2日9:00-翌朝	
林佑美	維新	新	61,720	47%	1,331	54%	1,193	53%	747	41%	724	41%
門博文	自民	新	55,657	43%	976	40%	897	40%	877	48%	836	48%
国重秀明	共産	新	11,178	9%	140	6%	141	6%	149	8%	159	9%
山本貴平	政女	新	1,476	1%	20	1%	31	1%	39	2%	33	2%
			130,031		2,467		2,262		1,813		1,752	
門氏は公明推薦												
					有効回答数3,475件		有効回答数4,023件		有効回答数3,822件		有効回答数3,942件	

- 補正モデル
- 有権者数30万人
- 維新候補が奈良県知事選勝利の勢いに乗って一気に逆転
- 投票行動調査に課題

衆院山口4区補選 4月11日告示、23日投票												
			開票結果		告示後情勢調査 (補正)		告示直前情勢調査 (補正)		告示前情勢調査 (補正)			
			投票率34.71%		4月16日8:30-翌朝		4月9日9:00-翌朝		4月2日9:30-翌朝			
吉田真次	自民	新	51,961	63%			875	63%	835	69%	818	69%
有田芳生	立憲	新	25,595	31%			466	34%	338	28%	345	29%
大野頼子	無所属	新	2,381	3%			19	1%	17	1%	21	2%
渡部亜衣	政女	新	1,186	1%			13	1%	16	1%	9	1%
竹本秀之	無所属	新	734	1%			12	1%	3	0%		
			81,857				1,386		1,209		1,194	
吉田氏は公明推薦												
					有効回答数2,326件		有効回答数2,238件		有効回答数2,422件			

- 補正モデル
- 有権者数24万人
- 安倍元首相の後継候補が圧勝
- 投票行動調査は実施せず
- 10増10減で消えゆく選挙区ということもあって関心が低く、回答数が伸び悩む

告示前の政女候補は黒川敦彦、5人目はなし



Ⅱ. 一般市長選

長崎市長選 4月16日告示、23日投票								
			開票結果		告示日情勢調査（補正）		告示前情勢調査（補正）	
			投票率47.18%		4月16日9:30-19:00		4月9日9:30-18:00	
鈴木史朗	無所属	新	65,520	43%	680	54%	595	60%
赤木幸仁	無所属	新	54,995	36%	438	35%	270	27%
原拓也	無所属	新	24,428	16%	106	8%	95	9%
吉富博久	無所属	新	8,878	6%	41	3%	39	4%
			153,821		1,264		999	
鈴木氏は自民・公明推薦、国民支持								
					有効回答数3,649件		有効回答数3,649件	

- 補正モデル
- 有権者数34万人
- 告示1週間前に圧倒的優勢だった鈴木氏を赤木氏が追いつけるも及ばず
- 投票行動調査は実施せず

高松市長選 4月16日告示、23日投票								
			開票結果		告示日情勢調査（補正）		告示前情勢調査（補正）	
			投票率42.26%		4月16日9:30-19:00		4月9日9:00-17:00	
大西秀人	無所属	現	90,485	63%	1,368	75%	1,334	79%
灘波博司	無所属	新	52,798	37%	464	25%	353	21%
			143,283		1,832		1,687	
大西氏は自民・公明推薦								
					有効回答数3,651件		有効回答数3,650件	

- 補正モデル
- 有権者数35万人
- 告示前から現職優勢
- 投票行動調査は実施せず



(追記①) 青森県知事選・青森市長選

青森県知事選 5月18日告示、6月4日投票										
開票結果				投票行動調査		中盤情勢調査		序盤情勢調査		
投票率57.05%				6月4日14:00-19:00		5月28日9:00-15:00		5月21日9:00-13:00		
宮下宗一郎	無所属	新	404,358	68%	1,724	74%	2,107	75%	1,994	75%
小野寺晃彦	無所属	新	174,155	29%	561	24%	644	23%	638	24%
横垣成年	無所属	新	10,516	2%	31	1%	41	1%	24	1%
楠田謙信	無所属	新	4,769	1%	8	0%	11	0%	9	0%
			593,798		2,324		2,803		2,665	
				有効回答数2,734件		有効回答数3,648件		有効回答数3,656件		

- 配信設計モデル
- 前むつ市長の宮下氏が前青森市長の小野寺氏を終始圧倒

青森市長選 5月28日告示、6月4日投票										
開票結果				知事選投票行動調査		知事选中盤情勢調査		知事選序盤情勢調査		
投票率58.86%				6月4日14:00-19:00		5月28日9:00-15:00		5月21日9:00-13:00		
西秀記	無所属	新	57,062	43%	291	46%	228	50%	210	58%
野崎小三郎	無所属	新	34,119	26%	184	29%	124	27%	121	33%
関良	無所属	新	29,734	22%	100	16%	65	14%		
大竹進	無所属	新	11,419	9%	51	8%	36	8%	31	9%
			132,334		626		453		362	
大竹氏は共産・社民推薦				青森市在住者のみを集計		青森市在住者のみを集計		青森市在住者のみを集計		
				有効回答数767件		有効回答数984件		有効回答数1,090件		

- 配信設計モデル
- 県全体の有権者数106万人中、青森市の有権者数24万人
- 知事選調査の中で市長選の投票先も質問
- 三つ巴の選挙戦で1、2、3位的情勢展開を的確に捕捉

※候補予定者3人で調査



(追記②) 岩手県知事選

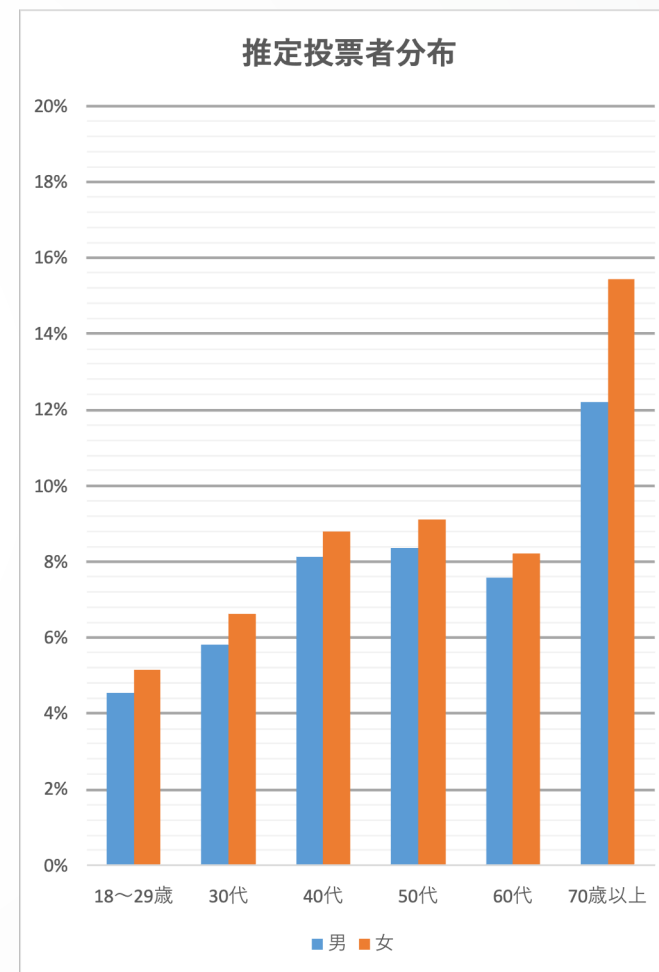
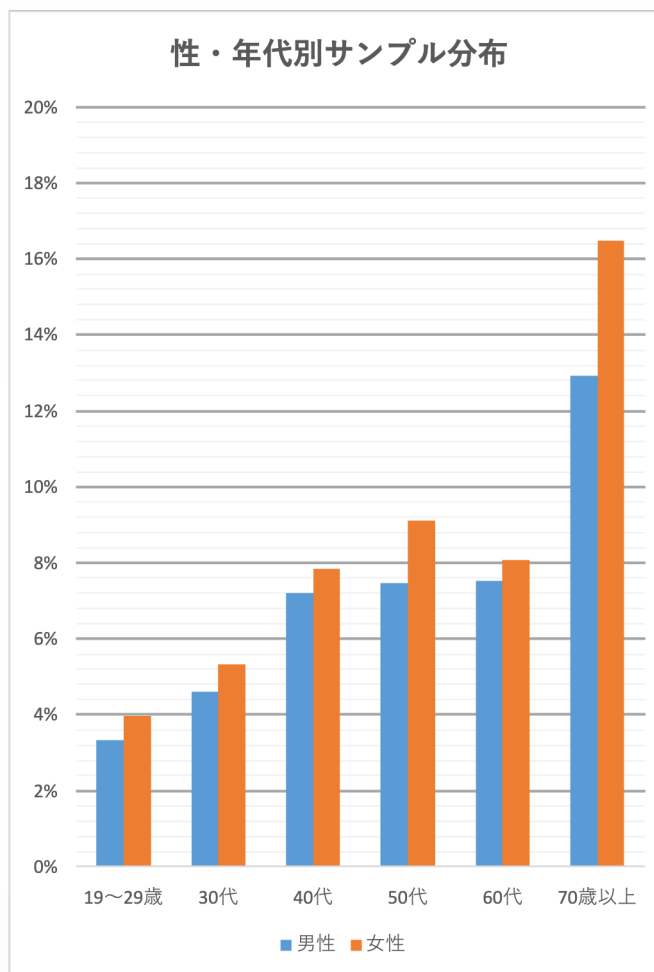
岩手県知事選 8月17日告示、9月3日投票											
			開票結果		投票行動調査		序盤情勢調査		告示前情勢調査		
			投票率56.63%		9月3日12:00-17:00		8月20日9:00-14:00		8月13日9:00-17:00		
達増拓也	無所属	現	336,502	59%	1,927	63%		1,500	61%	1,524	62%
千葉絢子	無所属	新	232,115	41%	1,142	37%		976	39%	927	38%
			568,617		3,069			2,476		2,451	
千葉氏は公明県本部支持											
					有効回答数3,671件		有効回答数3,658件		有効回答数3,652件		

- 配信設計モデル
- 現職6対新人4の情勢を告示前に捕捉、投票日まで変化なし
- 中盤情勢調査は実施せず

配信設計モデルの効果 ①選挙調査

<大阪市長選情勢調査>

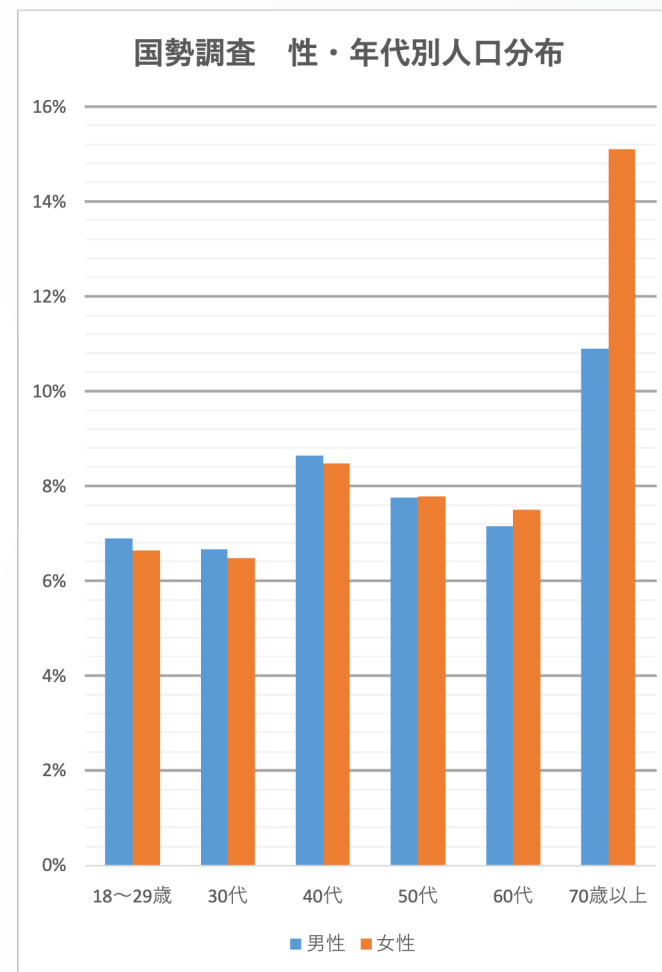
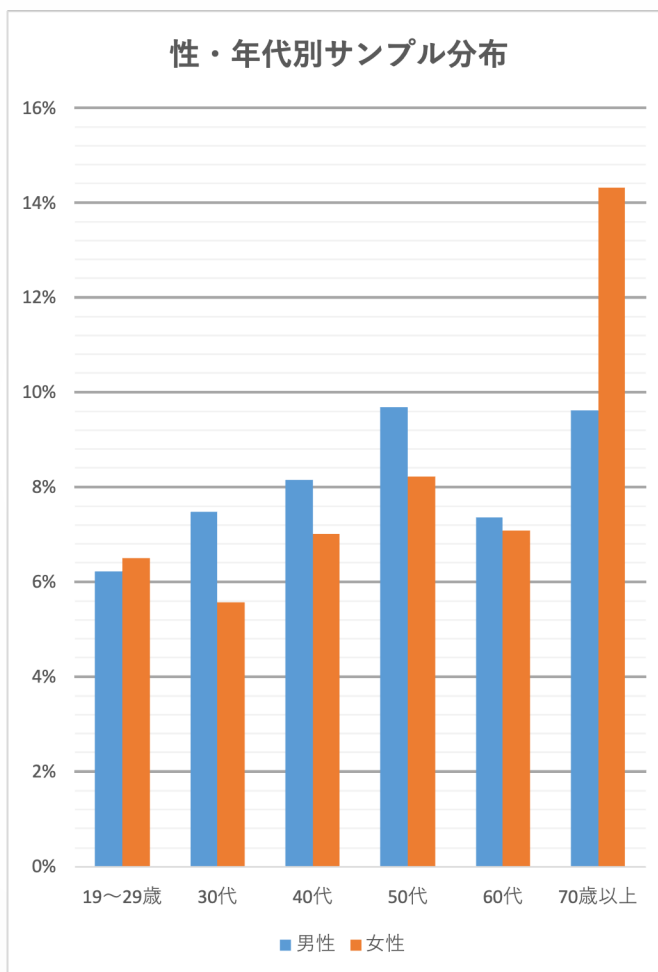
- 2023年4月2日実施
- 3,648サンプル
- 推定投票者の分布は過去の選挙から算出
- 大阪における過去のdサーベイの実績から性・年代別にメールの配信数を設計



配信設計モデルの効果 ②世論調査

<9月定例世論調査>

- 2023年9月3日実施
- 1,509サンプル
- 回答サンプルの性・年代別分布が国勢調査（2020年）の人口分布に近似するように性・年代別にメールの配信数を設計



さらなる精度向上へ向けて

◆ 「ポイ活」普及の性・年代・地域差に引き続き対応

- 配信母数はほぼ人口構成に近似して分布しているが、日常生活の中でポイントサービスに親しんでいる度合いには性・年代・地域差がある。
- 地域別では都市部に若干偏るほか、高齢女性の回答率が低い傾向がある。

☞ スマホが全国・全世代に普及したように「ポイ活」の普及が進めば、将来的に問題は解消していく。 ⇒ 「配信設計モデル」を進化させながら時代状況の変化に対応

◆ dサーベイ世論調査のモデル構築

- 有権者の6割強を母集団とするランダムサンプリング調査が「国民の縮図」を探る世論調査として社会的認知を得られるか。

☞ 選挙調査が「当たる」ことは実証 ⇒ 調査データの蓄積・検証を重ね、

「dサーベイ世論調査」モデルの構築を進める

特徴① 「国民の縮図」の革新

「母集団」概念の革新 —— 「1億総スマホ時代」見据え

- ◆ 有権者の6割以上を母集団とする巨大パネル
⇒NTTドコモユーザーを中心とするdポイント利用者の意見を世論と見なせるか
- ◆ 電話RDD法は真に国民全体を母集団としていたか
⇒固定電話保有率の低下、企業携帯と個人携帯の重複保有
本来なら別々に扱うべき集団を「国民」という一つの母集団に比定してきたが...

「無作為抽出」概念の革新 —— 「配信設計モデル」構築

- ◆ dポイントアカウントは原則一人一つ
⇒固定電話調査の世帯抽出は核家族化とオートコール調査の普及により形骸化
dサーベイなら真に個人を対象とした無作為抽出調査が可能
- ◆ 回答サンプルの地域、性、年代の偏りは「配信設計モデル」で事前に調整

特徴② 選挙調査に最適

- ◆ **地域別（都道府県別、市区町村別、衆院小選挙区別）の調査が可能**
⇒各種選挙の「**情勢調査**」に適している。
- ◆ 投票当日にメールを配信し、誰に投票したかを尋ねる「**投票行動調査**」が可能
⇒投票所での出口調査と同様、当確判定と投票行動分析に使える。
出口調査の課題とされる**期日前投票の傾向も把握**できる。
- ◆ アンケート画面で質問と選択肢を一覧できる
⇒電話調査で指摘されることのある
「**初頭バイアス（最初に読み上げた候補者に回答が偏ること）**」の心配がない。
- ◆ 情勢調査から投票行動調査まで同じ方式で行うことにより、**選挙情勢の変化を統計的に分析可能**。

特徴③ 世論調査の新機軸に

- ◆ 1億総スマホ時代の到来に合わせて設計した新しいインターネット調査
- ◆ スマホ画面での自記式調査 ⇒回答を自由に記述してもらうなど**多様な設問が可能**
- ◆ 巨大パネルの会員は都市部に偏らず、ほぼ人口構成に沿って分布
ランダム性を損なわない「配信設計モデル」によって性・年代の偏りも解消
⇒「**国民の縮図**」を探る**世論調査の新機軸**として期待される
- ◆ 従来の電話調査は、特殊詐欺の横行やプライバシー意識の浸透で応答率が低下
⇒NTTドコモから届くメッセージRは詐欺を疑う必要がなく、**回答者への負荷を低減**
- ◆ 1問につき1ポイントのインセンティブ ⇒**回答者から苦情を受ける心配なし**

ご清聴 ありがとうございます。

株式会社 社会調査研究センター（SSRC）

取締役執行役員 平田崇浩

さいたま市桜区下大久保 2 5 5
国立大学法人埼玉大学内
Tel 048-858-3751